

区分	専門分野	単位	1単位
科目名	基礎看護技術Ⅷ	時間数	30時間
講師名	専任教員	履修学年	1年次
概要	対象の理解と対象の健康の回復・増進・死への看護をするうえで必要な創傷管理と検査・治療・処置に伴う援助技術、知識、態度を習得する。		
学習目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 創傷の種類および観察・治療過程を理解し、創傷処置の看護技術を習得する。</li> <li>2. 褥瘡発生のしくみや好発部位を踏まえ、褥瘡予防の看護技術を理解する。</li> <li>3. 生体検査・検体検査の種類と留意点及び検査における看護師の役割がを理解する。</li> <li>4. 安全な採血の技術を習得する。</li> <li>5. 酸素療法の目的と方法を理解する。</li> <li>6. 排痰ケアの目的と方法を理解し、実際の援助を理解する。</li> <li>7. 一時的吸引の技術を習得する。</li> </ol>		
<b>授業内容</b>			
回数	学習内容	授業形態	
1	創傷管理の基礎知識	講義	
2	創傷処置（ドレーン創の処置・創洗浄・創保護・包帯法）	講義	
3	褥瘡予防（褥瘡の発生機序、好発部位、予防、褥瘡の評価と処置）	講義	
4	創傷処置の実際（包帯法・三角巾）	演習	
5	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 診療・検査の意義と目的、検査を受ける対象への配慮</li> <li>2. 検査の概要・検査時の看護（生体検査・穿刺）</li> </ol>	講義	
6	検査の概要・検査時の看護（検体検査）	講義	
7	援助の実際（血糖測定）	演習	
8	援助の実際（採血）① ※検体の取り扱いも含む	演習	
9	援助の実際（採血）②	演習	
10	酸素療法	講義	
11	排痰ケア（体位ドレナージ・咳嗽介助・ハフティング・吸引）	講義	
12	胸腔ドレナージ・吸入	講義	
13	援助の実際（酸素・吸引）①	演習	
14	援助の実際（酸素・吸引）②	演習	
15	まとめ/試験	講義・試験	
<b>使用教科書・教材・参考書</b>			
系統看護学講座 専門Ⅰ 基礎看護学Ⅱ 基礎看護学③ 医学書院 看護技術プラクティス 学研			
<b>成績評価の方法</b>			
筆記試験100%			
<b>備考</b>			
15回全て各クラスでの講義			